「お見舞い感謝に堪えず」

三池主婦会にお礼状が　沢田熊本県知事から

七月上旬、熊本県では天草を中心に、集中的に襲った豪雨による災害・被害が続出したが、三池主婦会は「こんなときこそ……」とただちに、全会員から救援物資を集め、熊本県総評に託して贈ったところ、このほど沢田一精・熊本県知事から、次の感謝状が寄せられてきた。被災者皆さんの、再起を心から祈ろう。

謹啓、時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、七月上旬熊本県を襲った集中豪雨による災害に対しては、早速心暖まるお見舞いの金品をいただき感謝に堪えません。

お贈りいただきました金品は、いち早く被災者に届けてお志しを伝えました。

このたびの災害は県内全域に及び、百二十人の尊い人命を失う大災害になりましたが、特に離島天草地方は壊滅的な打撃をうけ、被災地の惨状は目をおおばかりでございます。

県は被災町村とともに県内外各方面の絶大なご協力を得て、遺体の捜索、発掘や食料、飲料水、衣料の輸送など陸海空にわたる救援活動に不眠不休の努力をつづけているところでございます。

生活の根拠を失った住民の不安は大きく、ぼう然自失の態でありましたが、皆様の物心両面にわたる励ましをいただきようやく気力を盛り返えし、復興に励みつつある現状でございます。

私と致しましても皆様の御芳志に報いるため、さらに一層の努力をいたしたいと決意を新たにしている次第でございます。

とりあえず書状をもって、原くお礼申しあげます。

出産理由の配転無効

【連合】出産後、事務から独身寮職場へ配置転換を指示され、これを拒否して解雇された女子従業員が「配転は不当」と地位保全の仮処分を請求していたが、八月二十四日、横浜地裁（小河八十次裁判長）は原告の主張をほぼ認める判決をいい渡した。訴えていたのは横浜市の立中修子さん（28）。立中さんは昭和三十九年、東洋鋼鈑（東京都千代田区）に電話交換手として入社したが、その後、不当に受付係に配転させられた。また、結婚、出産を理由に退職を強要され、配転を拒否すると解雇された。

判決は、人事権の乱用であり、解雇は無効と断じている。

三つの統一目標で

第18回日本母親大会終わる

【連合】第十八回日本母親大会は八月二十、二十一日、仙台市に全国から一万三千人の母親が参加して開かれた。

第一日目は、市内八カ所の会場で、「幼児教育」「性教育」から「公害」「安保廃棄」まで四十三のテーマで分科会にわかれ討論。二日間を通じて討論時間はわずか五時間とあって、真剣そのもの。討論の終わりに各分科ごとに「来年の大会までにこんな運動をしましょう」という目的で、申し合わせ事項がひとつひとつまとめられ、その数は全体で八百七十一にも達した。

二日目は宮城県スポーツセンターで全体会。県最大の収容力をもつ同センターも参加者を一度に収容できず、午前と午後の二回に分けて開催した。まず、来賓としてハノイ総合大学学長のコンツム氏が、会場のどよめきと大きな拍手に迎えられてあいさつ、とのあと丸岡秀子さんが「いのちへの願い」と題し、記念講演。「いま、ベトナムでアメリカの残虐行為が続いている限り、私たちにやすらぎはない。私たちの子どものこと、ベトナムの母と子を思い、発言しましょう、行動しましょう、勇気を出しましょう」と呼びかけ、感動を与えた。

大会は、①市販テストを考えよう、②食品総点検、③ベトナムへのカンパで分娩台などをおくろう、の三つを統一してすすめることを決め、大会宣言を採択。閉会後デモ行進をおこなった。

子供達へ残す〝本〟

敷島分会　古閑美子

いま主婦会で行う〝二十年史〟編さんのための記録が集まりつつあります。

やっぱり活発な発言は、三池闘争時のことで、私自身昭和三十三年に結婚したが、現在中学一年の子供を背に、オルグさんの喝いや動員には、かすりのモンペに運動靴、片手に大きなオムツの手提げがまだ二十代の私のスタイルでした。

そして、主人達のためのホッパー弁当の支度。分会ごとの激励行動。若さが手伝ったとはいえ、病気一つせず、よくも頑張られたものと思います。

しかし、闘争後の生活の苦しかったこと。賃金の七千数百円を手に、涙もとまらなかったものでした。

組織分裂によって、隣り同志口もきかない集団生活の中で、差別にも負けず出勤してゆく主人たちの姿だけが、私たちを励ましてくれました。

三川鉱大変災は、多くの遺族とCO患者をつくり出し、闘いは今日もなお続けられています。

この時一冊の本を、次の世代を背負って立つ子供たちに残し、やまのカアさんたちの歩いた道がこれだと教えてやりたいと思うのです。

×

この欄へ、主婦の皆さんのご投稿をお待ちしています。生活と意見をどしどし寄せて下さい。

ここどもたちの作品

反省を要する夏季児童対策

夏季児童対策に参加した子どもの綴り方作品が、ちょうど五十点寄せられているが、正直にいって、心をひかれる作品が少かった。それどころか、ただ先生（学生）の悪口だけを書いたり、きらいな子どもの名前だけを列記したりした作品が、いたずらに多かったなど、考えさせられることばかりだった。両親の生き方の反映でもあるとすれば、重大な問題であるが、ここにはひとまず優れた作品を紹介しておく。

女の先生と男の先生

野口奈都子

女の先生は、とてもやさしい。わたしは、女の先生が一番すき。

男の先生は、いっちょんすかんすぐおこるからきらい。毎日のようにおこる。

今までの男の先生は、ぜんぜんおこらなかった。

女の先生は、今までの先生も今の先生もだいすき。

男の先生は、みんなからめがね君といわれています。また、ゴリラと人間のあいの子ともいわれています。

わたしは、女の先生と、プールでいっしょに泳いだことがいちばんたのしかったです。

どんなにいっても、男の先生はだいきらいです。

×

地域も、学年も不明です。

学校友だち

三里小三年　有働紀美子

わたしたちの組は、三十人います。

そしたら、川間ゆみという人が遠いところへ行ってしまいました。わたしは、さびしくなってしまいました。

そしたらすぐ、また遠いところから一人なおってきました。その人の名まえは、きよふじみさとといいます。

はじめは、おとなしい人だなあと思っていましたが、あそぶときになると、「きゃー、きゃー」いってあそびました。だからわたしは、びっくりしました。

でも二、三日たつと、私となかよしになって、毎日毎日あそんだり、おふろにゆくにも、いつもいっしょでした。

ところが、ことしのぼんに、みさとさんもなおってゆくというので、わたしはまたさびしくなるなあと、いつも思っています。

おおきくなったら

三里分校三年　村上りえ子

おおきくなったらなにになりたいか。わたしは、おかねもちになりたいです。

りっぱな家にすみ、すてきなドレスをきて、りっぱなおむこさんをもらって、まい日をたのしくすごしたいです。

でもうちは、そんなお金もちじゃありません。でも、もしなれたならおかねもちの令嬢になりたいです。

でも、そんなゆめのようなことはできない、と思います。

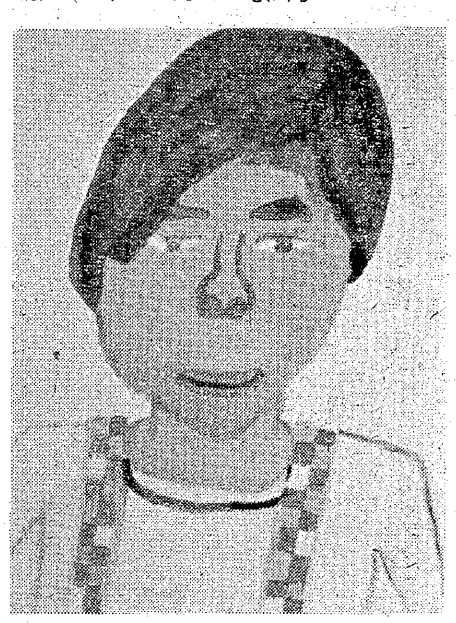
もしもそうなれたら、みんなをよんで、パーティをしようと思います。

たくさんのお金で、シンデレラひめが、まほうつかいのおばさんからもらったような、ガラスのくつをかいたいと思います。でも、どこにあるかわかりません。

おもちゃとか、すてきなおひめさまがきるようなふくとか、日本じゅうをみつけたってみつからないかつらと、ほんとのしんじゅのくびかざりをかってもらいたいです。そしてやさしいおとうさんや、おかあさんがいてくれたらいいなと思います。

よい子の皆さんへ

よい子の皆さん、さあ夏休みが終った。秋だ。勉強に、体育に、うんとがんばって、もっともっと強くて、よい子になろう。



絵、上のが平川俊子さんのもの。右のは中島（名前なし）さんのもの。残念ながら学年がわからない。

中学生になって

中村　芳江

中学生になって、希望を胸にだいて学校の門をくぐった。

どんな組にはいるのだろう。どんな苦難がまちうけているかもしれないが、中学生になった今、いっしょうけん命にやりたいと思っている。

中学生になって、学級委員の選挙があり、私がえらばれた。あまり自信はないが、学級委員になった以上、前のけいけんを生かしてやりとげなければいけない。

わたしはこの組には、不良っぽい人がそろっているなあと思ったが、やはり思ったとおりだった。男女の対立が、一部的にみられる面もあった。

そんななかで、私たちは生活していかなければいけない。小学生のとき好きだった人とも、きらいだった人ともいっしょの組になったのだ。

なによりうれしかった事は、友だちがたくさんできた事なのだ。なかでも好きな人もできた事が中学生としてほこりに思っている。

中学生になって体も成長し、もうバス賃も、大人の分をはらわなければいけないし、なんだか一人前の人間になったような気がするが、やはりまだまだこどもだ。

一学期がおわり、まちにまった通知表もらいだ。どんなだろうと思った。

今はもう夏休み。二学期にそなえて、学習にはげみたいと思っている。

×

中学一年のようであるが、地域はわからない。

撮影はじまる

〝どぶ川学級〟が

カラー劇映画『どぶ川学級』（同映画製作上映委員会製作。橋祐典監督）。

この映画は、『ドレイ工場』で知られる全国金属労組日本ロール支部の長期闘争のなかで生まれた地域の子ども学級の実録（須長茂夫＝現同支部副委員長＝原作）にもとづいたもの。学級の〝教師〟須藤との人間的なふれあいのなかで、いきいきと成長していく子どもたちの姿が描かれますが、学校教育のなかに持ち込まれている選別教育に対して、真の教育とはなにか、という問題も問いかけています。

須藤役の山本亘さんは「子どもたちとの一回一回の出会いを真剣勝負としてぶつかっていきたい」と抱負を語り、〝どぶ川学級〟に共鳴する女教師三橋先生の役で映画初出演の梶三和子さんも「原作に感動しました。わたしに先生の役がやれるかどうか、とにかくムキになってやってみるつもりです」といっています。【連合】